

[別紙②]

第3学年社会科 公民的分野ワークシート

めあて 「社会を見る視点」にはさまざまな角度からの見方があることを理解する

「侮辱罪」とはどのような罪ですか

6月にどのような内容が改正されましたか

改正前

改正後

改正された意義はなんですか

なぜ全会一致で決まらなかったのでしょうか

「人権を守る」ということについて、この時間に考えたことを書きましょう

3年（ ）番 名前（ ）

〈生徒の感想より〉

私は厳罰化されて良かったと思います。軽い刑のままなら何も変わらないし、命が失われていくばかりだと思うからです。表現の自由が制限される可能性については心配ですが、命を絶ってしまう人がいるならば厳罰化に賛成です。

人権を守ることにについて、正解が1つではないため、すごく難しいと思いました。「厳罰化」で誹謗・中傷をする人は減ると思いますが、心から「誹謗・中傷をしたくない」と思わないと意味がないと思いました。

「何のために相手の人権を守るのか」が一番大切だと思いました。「法律があるから、罰金を払わないといけないから守る」のではなく、「相手を侮辱、誹謗・中傷したらどれだけの人が悲しい思いをするかを考えるから守る」だと思いません。

明らかな誹謗・中傷は「厳罰化」以前の問題で、個人個人の正しい判断が必要だと思いました。心配になったのは、「厳罰化」で日本のインターネット文化の活気が失われてしまうのではないかということです。また、今回のような「人権と人権の衝突」も、今後、増えてしまうのではないかと感じました。

「批判」と「誹謗・中傷」の違いは調べてみて理解できましたが、実際には「批判」のつもりが「誹謗・中傷」と捉えられるかもしれないし、判断が難しいと感じました。まずは、自分が噂話や根拠のないことを広めたり、そうしたことを信じて決めつけることをせずに、生活していきたいと思いました。

誹謗・中傷をしている人は、社会に冷たくされている人なのだと思います。誹謗・中傷をしている間は、自分が正義のように思えて、周りも賛同してくれると、社会の一員になれたような気がしてしまうのではないのでしょうか。社会に冷たくされてしまう人を生み出さないことが、全員の人権を守ることにもつながっていくのではないかと思います。